

〈解答〉

① 1 ア・ウ（順不同、完答）

2 (1) 「例」深く掘り下げてそれぞれのニュアンスを感じ取り、その違いを考慮し  
たうえで言語化する（40字）

(2) Ⅱ 感性や思考 Ⅲ 心の豊かさ

配点 ① 2 ②各2点、他は各3点 10点満点

〈解説〉

①

1 若者が口ごもる理由について、第二段落で「単に表面的に『よかった』とするだけで、どこがどんなふうによかったか、心の奥深くで感じることなく、また感じたとしても言語化することができないようなのだ。」と筆者は考察しているため、「心の奥深くで感じるのではない」「感じたことを言語化できない」という内容となっているア・ウが適当である。

2 日本人が、言葉のニュアンスを考慮することをしなくなり、語いが減少していったために、感受性は鈍化していったのである。自分を鍛えるとは、一つ一つの事がらを、「心の奥深くまで掘り下げ、細かいニュアンスの違いを感じ、それを考慮して言語化すること」で、語いを豊かにし、「感受性や思考能力」を育むことである。「心の豊かさ」とは、社会が与えてくれるものではないため、このように自分を鍛えなければ手に入らないし身につかないものだと言者は述べている。